

メタル&ウッドラック専用パーツ MK-PB1ST 3連結用ボードセット 取扱説明書

PB1ST523062

保存版

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。組み立ての前に「注意事項」をよくお読みいただき、正しくお使いください。事故防止など安全のために、注意事項は必ずお守りください。お読みになられたあとは、必ず大切に保管してください。

❶ 本品は本シリーズを計2セットを連結して組み立てます。

組立上の注意

- 組み立ては平らな床の上で、床が傷つかないように段ボールや毛布等を敷いて行ってください。
- 組み立ての際は指などを挟まないように十分に注意してください。
- お客様の手の届く所に小さな部品を放置しないでください。
- 本製品はパーツを叩いて固定するため、叩いた面や連結部分の塗装がはがれる場合がございます。あらかじめご了承ください。

使用上の注意

- 耐荷重を超えて物を置かないでください。変形や破損する恐れがあります。
- 湿気や高温多湿の場所には設置しないでください。
- 変色や変形の原因となるため、棚板の上には濡れたものを置かないでください。
- 電化製品を設置する際は、設置する電化製品の取扱説明書に従い正しく設置してください。発熱や発火の原因となります。また設置の際は平らになるようにご注意ください。
- 天災などの不可抗力や不当な修理改造、誤った使用方法に起因する破損や中古品での購入による損害は補償いたしかねます。
- 用途以外での使用はしないでください。

製品仕様

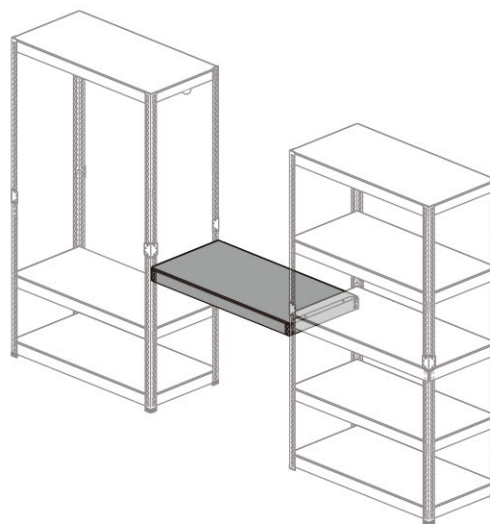
品名	MK-PB1ST
材質	ブラケット：スチール（粉体塗装） ボード：合成樹脂化粧繊維板（塩化ビニール）
サイズ	W81×D41×H6.5(cm)（設置時）
重量	約 3.4kg
耐荷重	50kg（設置時ボード部分）
製造国	韓国

■販売元 株式会社ドリームウェア
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-11-6
☎0120-133-888 受付時間:平日10:00～18:00(土日・祝日を除く)
<http://www.dreamware.jp/>

保管・点検上の注意

- 使用中に変形や破損が生じた場合はただちに使用を中止してください。
- 変色や塗装のはがれにつながりますので、ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉などの製品・薬剤は使用しないでください。
- お客様による修理および改造はしないでください。

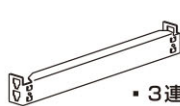
完成図



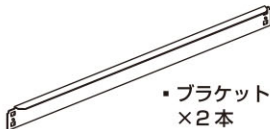
お手入れ方法

乾いた布でふいてください。汚れがひどい場合は水拭きをした後、乾いた布でからぶきをしてください。

部品リスト



・3連結用ブラケット
×2本



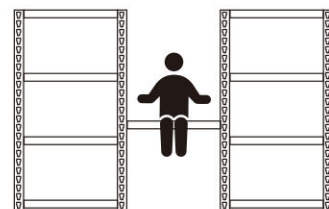
・ブラケット（長）
×2本



・リバーシブル
ボード×1枚

使用上禁止事項

ボードに座らない
破損の危険があり大変危険です

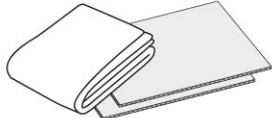


組み立てのためにご用意いただくもの

■MK-883H・MK-885N
付属ハンマー



■毛布やダンボール
（床の保護のため）

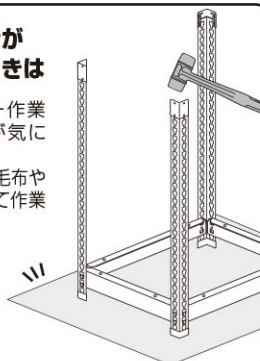


■軍手



組み立て音が 気になるときは

ゴムハンマー作業
による打音が気にな
るときは、
床面に厚手に毛布や
布を敷き詰めて作業
してください。





組み立て前の 注意事項

- ・本製品はハンマーでフレームをたたき圧入させて組み立てます。床を保護せず組み立てると思わぬ傷が生じる恐れがありますので**必ず床面を保護してから作業してください。**
- ・組み立て時音がでますので、夜間の組み立ては近隣に配慮して行ってください。

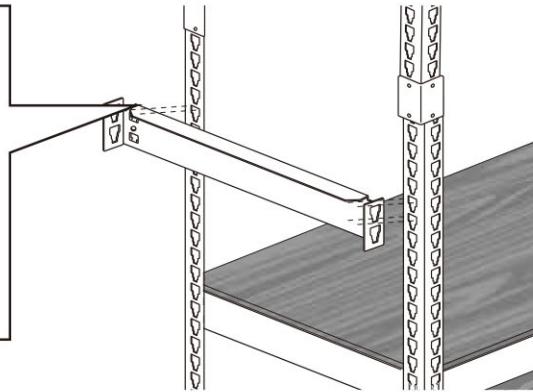
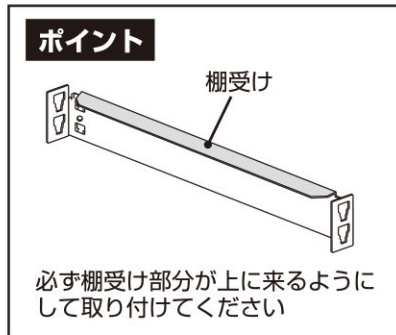
組み立て

- ①連結棚を取り付けたい位置に連結ブラケットを取り付けます。
(2台のラックの同じ高さに取り付けてください)

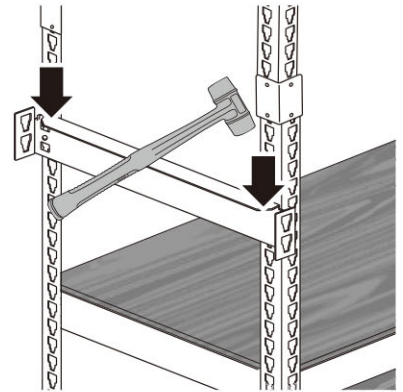


棚においてある物をすべて降ろしてから作業してください。

左右2セットつくる

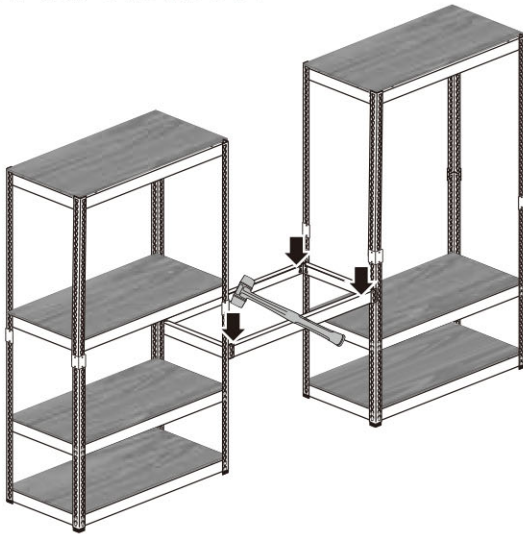


ラックの外側から連結ブラケットのツメを支柱穴にかける。



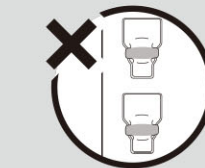
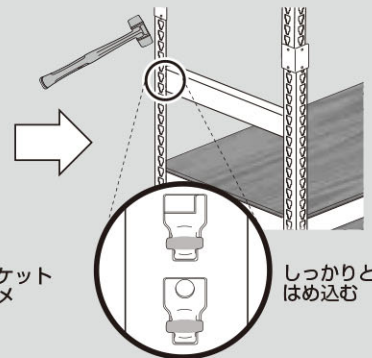
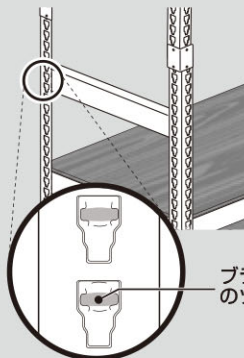
ブラケットの両端をゴムハンマーで均等に叩く。

- ②連結ブラケットを取り付けたラック2台をならべ、内側からブラケット(長)を取り付けます。



ブラケットの 取り付け方

支柱の穴・もしくは連結ブラケットの穴の広い方にブラケットのツメをかけ、ハンマーで左右均等に叩き、ツメが穴の狭い方にしっかりとハマり込むようにしてください。



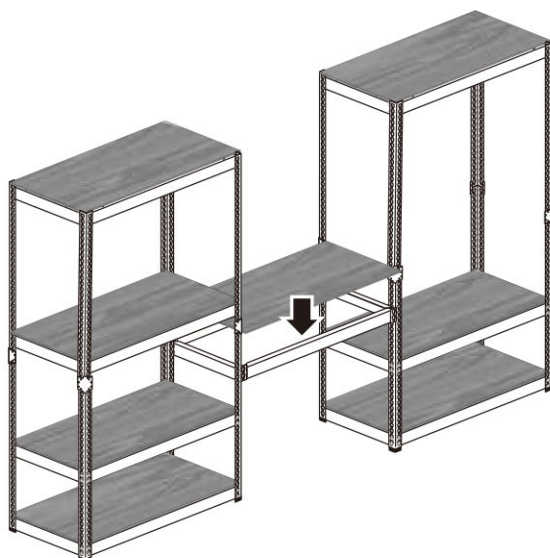
ブラケットのツメ

しっかりと
はめ込む

隙間が
あいている

片方しか
入っていない

- ③連結部分にボードをはめこみ、全体に歪みやゆるみがないかを確認したら完成です。



ボードがはまりにくい場合は、四隅を均等に少しずつ押し込んでください。板の中央部を強く叩くと棚板が割れる恐れがあります。